

研究課題名	ボルテゾミブによるレナリドミド関連皮膚障害発現への影響に関する研究
研究責任者(職名)	薬剤科 杉 富行 (薬剤師)
実施責任者(職名)	薬剤科 杉 富行 (薬剤師)
研究期間	2020年12月 (倫理委員会承認日) ~ 2022 年 3 月 30 日
研究目的と意義	<p>多発性骨髄腫の治療で使用するレナリドミド (商品名: レブラミド) の副作用の一つに皮膚障害があります。レナリドミドによる皮膚障害はボルテゾミブ (商品名: ベルケイド) の投与歴があるとその発現頻度が低下すると言われていています。しかしどの程度レナリドミドとボルテゾミブの投与間隔があると低下するなど、詳細はわかっていません。</p> <p>そこで薬剤科ではボルテゾミブの投与状況とレナリドミドによる皮膚障害の発現状況を調べ、その影響について研究を行っています。</p> <p>この研究結果によっては、治療開始前にレナリドミドによる皮膚障害が起こりにくい方を把握でき、予め対策が立てやすくなります。</p> <p>研究目的、研究方法などについては当院の倫理委員会で十分に審査されたものです。</p> <p>患者さんの診療録や検査データを用いて解析を行いますが、個人名、住所などは完全に匿名化され、個人を特定することは不可能になっており、患者さんご自身に不利益が及ぶことはありません。今後のレナリドミドの治療を受ける多くの患者さんの将来の利益のために行われている研究ですので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>
研究内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象となる患者さま 永寿総合病院血液内科にてレナリドミドを服用された方 約80名</li> <li>●利用する情報 上記調査対象の方の診療録から、治療歴、血液検査データ、薬剤投与状況、副作用所見などを中心に調査を行います。</li> </ul>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>薬剤科 杉 富行 (薬剤師)</p>